「中学部意見交換会（わくわく相談会)」この日のわくわく度70%以上でした☆

３つのグループに分かれて各作業班の実践と事例生徒について以下の３点を話し合いました。

①各作業班で自慢できる支援グッズを紹介し合う。

見てわかる出来高表、花植えの場所が分かるマーカーなどの視覚的支援だけでなく、自分で準備・片付けができるためのテーブル配置といった環境設定や実態に合わせた活動設定など、色々な支援を自慢し合うことができました。

②各作業班の事例生徒の１学期の成果と２学期の課題を共有。事例生徒が「考える・判断する」ためのアイデアを出し合う。

「わくわくシート」を使って事例生徒の様子を共有し、思考・判断・表現の目標（がんばりポイント）に向けてどのようなしかけをしていけばよいか話し合いました。

「できた」「できない」の成果だけでなく、１年間または単元を通して何ができるようになった（変化した）のか、教員一人一人が「生徒の成長に気付いて生徒に伝えることができるようになること」ことを目指しています。

③９月の研究授業に向け、紙工班の事例生徒の目指したい姿と悩んでいることを共有し、支援を検討する。

話し合いの流れ
①目指したい姿、悩んでいることを共有する。
②事例生徒が紙漉きに取り組んでいる動画を見る。
③支援を検討する。